

この通信により、広く市民の皆様に、公益財団法人として、また、全国初の行政関与型在宅サービス提供機関としての福祉公社の今をお伝えします。表題の羅針盤はご利用者の生活を包括的に支援し、その人生行路を共に歩む、昭和55年創業時からの福祉公社のサービス基本姿勢を表したものです。

発行日 平成25年12月10日【第9号（月刊）】

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

TEL:0422-23-1165 FAX:0422-23-1164

去り行く一年を振り返りつつ、歳の歩みの速さをしみじみと実感する師走です。

皆様には、いかがお過ごしでしょうか。

例年よりひと月早く冬が訪れたかのような今年、寒菊が寒さに勇んで、健気に咲いています。

流行性の感染症が危惧される冬場、体調管理には十二分にご注意いただき、お健やかな日々をお送りください。



＜紙面から＞

特集：高齢者総合センター
デイサービスセンター

・・・ P.1～P.2

お知らせ・・・ P.3～P.4

特集：高齢者総合センター デイサービスセンター

今月の特集はデイサービスです。

デイサービスとは、ご利用者が在宅生活を継続できるように、施設に通所して入浴や食事の提供等日常生活上の世話、機能訓練などを日帰りで受ける福祉サービスです。

高齢者総合センターデイサービスセンター（以下、総合センターデイ）では機能訓練と入浴サービスに力を入れ、ご利用者の社会参加、心身機能の維持向上を支援すると共に、介護を担うご家族の負担の軽減を図っています。

日替わりのプログラムや行事も充実しています。

新谷デイサービスセンター担当係長に、北町高齢者センターの富田看護師がインタビューしました。



デイスタッフ ～クリスマス会のリハーサル中～

＜総合センターデイの特徴＞

富田：まず、総合センターのデイサービスセンターは、高齢者福祉に関して様々な事業展開をしている高齢者総合センターの中にありますよね。

その点から特徴的なことや各部署と連携していることは何かありますか。

新谷：在宅介護支援センター・補助器具センターとは、お互いに協力し合って実際に介護をしているご家族を支援しています。在宅介護支援センターの職員による認知症サポーター養成講座を総合センターデイの家族会で開催してもらうこともあります。

また、補助器具センターの専門相談の言語聴覚士（言語・聴覚・嚥下障害の機能回復や発達促進の援助を行う専門家）には口腔体操、コンチネンスアドバイザー（日本コンチネンス協会の排泄の専門家）には失禁予防体操を月1回指導してもらっています。コンチネンスアドバイザーには他の人には話づらい排泄の悩みを相談できて嬉しいとの声をいただいています。

補助器具センターの作業療法士に、ご利用者の杖や歩行器の使い方を見てもらうこともあります。

ご利用者に様々な視点からお役に立ちたいと考え、総合センター内で連携をして、より良いサービスを提供できるようにしています。

富田：様々な面で連携しているのですね。他には何かありますか。

新谷：社会活動センターとも連携しています。

今年度は初めて社会活動センターの「ふれあい文化祭」と総合センターデーの「作品展」を共催しました。

また、社会活動センター受講者が総合センターデーでボランティアをする、デーのボランティアが社会活動センターの講座に参加するなど、活発な交流があります。



<はつらつ体操の様子>

<地域交流の取組み 四季折々のイベント>

富田：力を入れていることを教えてください。

新谷：今年度は、近所に住む小学校に入る前のお子さんたちをセンターに招いて、うどん打ちや七夕、夏祭りなどで、ご利用者と一緒に楽しんでもらいました。子ども達と交流したご利用者がとてもいい表情をしていて、私達スタッフも嬉しかったですね。このように、今は地域交流にも力を入れています。地域に開かれた総合センターデーとして、皆様に地域福祉に関心を持ってもらいたいという思いで取り組んでいます。また、ボランティアの育成にも繋がれば良いと考えています。お子さんとのイベントでは、お母さんたちに総合センターデーのチラシをお渡しするなど広報しています。

富田：地域と継続してつながる工夫はありますか。

新谷：一度いらした方を登録して行事案内をしています。総合センターやデイサービスを地域の方に知っていただくことが大切と考えています。来年1月には餅つきを予定しています。

富田：イベントは他にもありますか。

新谷：お花見・クリスマス会など四季折々の行事を毎月開催しています。

外出は中々できないのが現状ですが、春と秋には関前の農業公園で車椅子でも使えるテーブル菜園で野菜を作っています。定員は5名で3ヶ月かけて野菜を育て、収穫した野菜はデイサービスの昼食でいただきます。どんなプログラムもご利用者が目的意識を持って取組み、スタッフがそれを生かして自立を支援することが大切だと考えています。

富田：とても大切な視点ですね。



<テーブル菜園>

<市内事業所との相互交流>

富田：市内のデイサービス事業者を集めて研修会をしていますね。

新谷：それぞれの事業者のケア水準が向上するように、情報の拠点として、色々な内容で合同研修会を定期的実施しています。また事業所同士が顔の見える関係を作ることで、困ったことがあった時に協力しやすい環境を整えています。

富田：例えばどのような研修会を実施していますか。

新谷：コンプライアンスや接遇、記録の書き方、感染症予防など実践的な内容です（右上記事参照）。

富田：様々なイベントや事業者の相互交流など幅広く活動しているのですね。

これからも、ご利用者により良いサービスをお届けできるよう頑張ってください。

北町高齢者センターともこれからも協力していきましょう。ありがとうございました。

福祉公社は公益財団法人として、市内のサービス事業者の皆様と手を携え、そのサービス水準の向上に寄与する役割を担っています。

その一環として、10月17日(木)に、市内のデイサービス事業者にお声かけをし、情報交換を兼ねた研修を実施しました。6事業所の参加がありました。

今回は感染症対策を主テーマとし、まずは座学で感染症マニュアルを学び、次に効果的な手洗いの方法と洗浄が不十分な部位のチェック、感染性胃腸炎が疑われる嘔吐の処置について実践し、全員で意見交換して理解を深めました。

今後とも、より良いサービス提供のために、このような合同研修に力を注いでまいります。



11月

高齢者総合センター開設 20 周年記念

～ ふれあい文化祭・デイサービスセンター作品展開催さる ～

高齢者総合センターが平成 5 年に開設され今年で 20 年です。

それにちなみ 20 周年記念のタイトルを冠し、11月14日から16日まで、ふれあい文化祭とデイサービスの作品展を合同で開催いたしました。

デイサービスの作品展は、例年、市民文化会館の展示室で行っていましたが、今年度からセンター内で共催となりました。

社会活動センターは健康増進、趣味、教養の向上に資するように体操系、音楽芸術系、一般教養系など年間 40 講座余りを開講しています。

受講者の方々に生きがいを持って市民生活を送って頂くと言う介護予防の目的も持っています。

その趣旨の通りに、皆様の日頃のご研鑽の成果が、作品の展示やステージ発表などを通して披露されました。

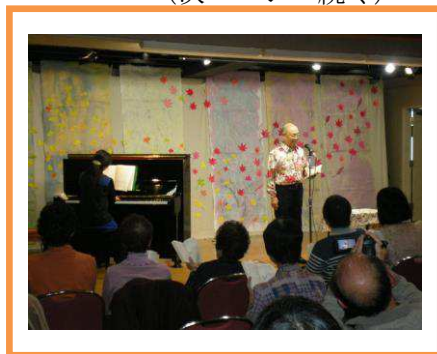
いずれも創作のよろこびや創意工夫、生涯現役のはつらつとした若々しさに満ちた素晴らしいものでした。ステージに立ったある方は、「緊張の中にも充実した達成感」を述べておられました。

デイサービスセンターの作品の数々も、ご利用者が一年をかけて製作した藤細工、陶芸、絵手紙などの個人作品やボランティアの皆様との共同作品など独自の表現で光彩を放っていました。

リハビリテーションを兼ねたこれらの創作の数々にご利用者の人生が重なり、誠に感慨深いものがありました。

恒例のうたごえ喫茶ともしびコンサート、パラグアイの民族楽器アルパコンサートも、お蔭様で多数の方々にご来場いただきました。

(次ページへ続く)



(前ページから続き)

総合センターは、地域の社会資源として地域福祉・地域交流の一翼を担えるよう日頃から取り組み、昨年に引き続き展示室に地域交流コーナーを設けました。緑町のまちおこしに取り組んでいる緑町きらきらプロジェクトの皆様や地域有志による花の道紹介パネル「人が手をつなぎ、みちは花で飾られる」や社会資源紹介パネルが展示され、更にガーデニング講座受講者の皆様も加わりコミュニティカフェが開かれました。こちらも千客万来でした。また、福祉公社の後見係が老いじたくの相談コーナーを設けるなど、昨年とはまた一味違うふれあい文化祭となりました。

開催期間中は延べ1,427名の方々にお越しいただき、関係各位に心より御礼申し上げます。



公社からのお知らせ

地域交流会

新春 餅つき大会 ご案内

高齢者総合センター・デイサービスセンター恒例の行事です。むかし取った杵柄・・・ご利用者からコツを伝授して頂きます。

お子様用に小さい杵もご用意いたします。

新春のひと時、餅つきを通した世代間交流も兼ねてみんなで楽しみましょう。

お越しをお待ち申し上げます。

日時 平成26年1月7日(火) 午後1時から3時

場所 高齢者総合センター 1階ロビー

費用 無料

申込・問合せ デイサービス 新谷 (Tel.51-2933)

老いじたく講座

誰にでも訪れる老いに備えて元気なうちから準備しましょう。

テーマ:「成年後見制度について」

日時:12月24日(月)13:30~15:00

場所:市民会館(境2-3-7 Tel.51-9144)

申込:福祉公社後見係 Tel.23-1165

出前講座も承ります

5人以上のグループ、サークル等で、老い支度講座を受講してみたい方、ご要望に応じて出張講座も承ります。テーマはご相談、ご要望に応じてお話しさせていただきます。

例)「財産目録・遺言を作ろう」「エンディングノートを書いてみよう」等々

お申し込み、お問い合わせは、福祉公社後見係まで
(Tel.23-1165)

次号は平成26年1月10日発行予定です。



武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikoshi.jp/>